

福島市バリアフリー基本構想

～土湯温泉地区～【概要版】

1. バリアフリー基本構想とは

(第1章)

* バリアフリー基本構想策定の目的

バリアフリー基本構想は、本市のバリアフリー化方針を定めた「福島市バリアフリーマスタープラン」で「特にバリアフリー化を促進する地区(移動等円滑化促進地区)」として設定された地区において、バリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために策定するものです。土湯温泉地区は移動等円滑化促進地区になっています。

* 計画期間

2026年度(令和8年度)～2030年度(令和12年度)の5年間

2. 福島市におけるバリアフリーの基本理念

(第2章)

本市のバリアフリー化に関する課題を踏まえ、誰もが個人として尊重され、安全かつ安心して移動し、快適に日常生活を送ることができるよう、市民一人ひとりが相互に尊重し、支え合うことができる社会の実現を目指して、福島市バリアフリーマスタープランにおける基本理念を以下のとおり定めています。

誰にでもやさしいまち ふくしま

3. 土湯温泉地区の現状把握と課題整理

(第3章、第4章)

土湯温泉地区においては、地域住民だけでなく観光客が円滑に移動できるような施設や道路等のバリアフリー化に加え、観光地としてのおもてなしや心のバリアフリーの推進が求められています。バリアフリー推進協議会や地元関係者等が集まって、勉強会やまち歩き点検、意見交換会を行い、バリアフリーの現状把握と課題の整理に努めました。

4. 重点整備地区等の設定

(第5章)

* バリアフリー法で定められている重点整備地区の設定要件

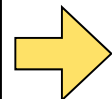
- ①生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区
- ②生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化事業が特に必要な地区
- ③バリアフリー化の事業を重点的・一体的に行うことが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効適切な地区

重点生活関連施設

バリアフリーのニーズが高い公共施設・旅客施設・観光施設等から選定

重点生活関連経路

重点施設相互の連絡、駅やバス停から重点施設までの連絡を担う経路から選定



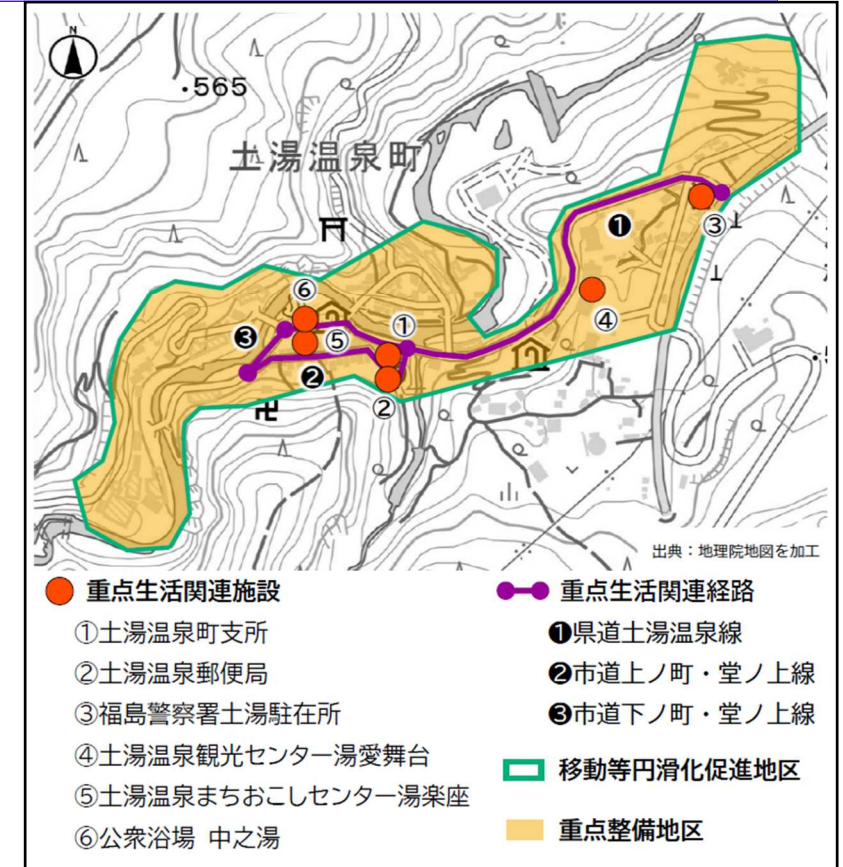
重点整備地区

* 重点生活関連施設・経路の設定

勉強会やまち歩き点検、意見交換会の結果を踏まえ、重点生活関連施設と重点生活関連経路を右の表のとおり、設定しました。

* 土湯温泉地区の重点整備地区

重点整備地区の設定は、バリアフリー法の要件や地域特性をふまえて設定する必要があります。土湯温泉地区は、地区全体に重点生活関連施設・経路が散在していることから、地区全体を重点整備地区と位置付けました。



※②土湯温泉郵便局は、令和8年3月11日より一時閉鎖

5. 特定事業・その他の事業

(第6章)

「特定事業」とは、重点整備地区の重点生活関連施設、重点生活関連経路に関するバリアフリー化の内容を具体化するもので、事業計画の作成とそれに基づく事業実施が義務となります。特定事業には、6つのハード整備に関する事業(公共交通特定事業・道路特定事業・路外駐車場特定事業・都市公園特定事業・建築物特定事業・交通安全特定事業)とソフト対策に関する事業(教育啓発特定事業)の7つがあります。また、特定事業以外でバリアフリー空間を創出する事業をその他の事業と位置づけ、特定事業と連携を図り一体的なバリアフリー化を推進します。【具体的な事業の内容は次頁】

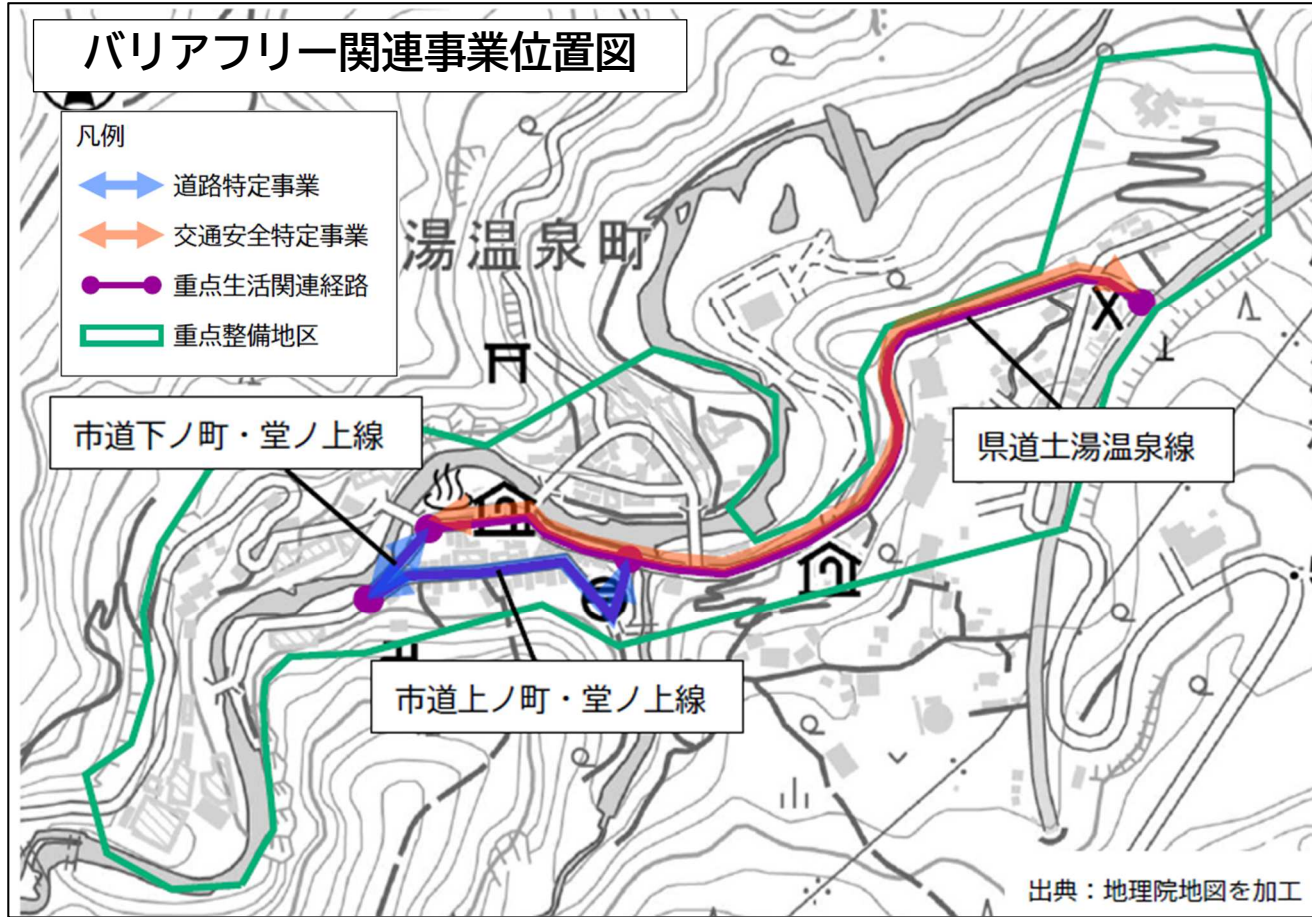
6. バリアフリー基本構想の推進に向けて

(第7章)

バリアフリー基本構想の策定後も事業の実施状況を把握し、事業実施内容と効果の評価をする仕組みの構築や、必要に応じて内容の見直し検討を行うといったPDCA(計画・実施・評価・改善)サイクルにより、概ね5年を目途に段階的かつ継続的な取り組み(スパイラルアップ)を図っていきます。また、5年の計画期間中であっても、新たなバリアフリーの課題等については、必要に応じ内容の見直しや改定を行い、取り組みを更に推進します。



福島市バリアフリー基本構想 ～土湯温泉地区～【概要版】



公共交通

◎車両のバリアフリー化

- ・低床バスの導入を推進
- ・UDタクシーの導入を推進

*新たな小型モビリティの導入

- ・地区内の移動支援のため、新たな小型モビリティ(電動車椅子等)導入を検討

全 3 件

建築物

◎誘導用ブロックの改善

- ・施設内に設置してある視覚障がい者誘導用ブロックの交換

*施設の案内板の設置

- ・わかりやすい施設案内板を設置

など 全 10 件

路外駐車場

◎案内板の改善

- ・分かりやすい施設案内表示への改善

*安全施設の設置

- ・アクセルとブレーキの踏み間違い等による事故防止のため、歩行空間へのガードレール等の設置を検討

*舗装の改善

- ・再舗装による段差や表面の凹凸の改善、隙間の幅の狭いグレーチングへの改善を検討

*駐車場の新設

- ・車椅子利用者用駐車場の増設を検討

など 全 6 件

道路

*積雪時の安全対策

- ・積雪時の坂道のスリップ防止

*道路(歩道)の維持補修

- ・歩行者や車いすの通行に配慮した段差や凹凸、グレーチングの改善
- ・植栽の剪定、適切な維持管理、傾斜注意喚起看板の設置等

など 全 6 件

交通安全・その他

◎交通安全施設整備

- ・信号機がない横断歩道へ横断者注意喚起灯の設置

*情報提供の充実

- ・多言語・多様な手段による土湯温泉地区の情報発信

*歩きたくなる環境の整備

- ・温泉街らしい雰囲気演出(電柱などへの屋号や誘導灯の設置等)について検討

など 全 10 件

教育啓発

◎おもてなし力の向上

- ・障がい者団体や民間事業者と連携し、観光・宿泊事業者などを対象に「おもてなし講座」を開催し、「心のバリアフリー」を普及・促進する

◎職員の教育・啓発

- ・公共交通従事者が障がい者等へ適切な対応が出来るよう研修を実施

◎施設利用者への支援・接遇

- ・施設内の段差や移動のサポート、手話・筆談による案内等について検討

*バリアフリーマップによる情報発信

- ・高齢者や障がい者、外国人などを対象に、バリアフリーに関する情報を掲載したWeb版の地図を公開、更新

など 全 12 件

事業実施目標時期 ◎：特定事業 *：その他の事業